

防災情報はここで 入手（登録無料）

●防災メールまもるくん

知りたい場所の防災情報や避難情報が、携帯電話に電子メールで届きます。

【問】 県総務部防災危機管理局防災企画課（☎092・643・3114）



●災害情報発信システム

市内で発生した火災や災害の情報が、携帯電話に電子メールで届きます。

【問】 市消防本部（☎74・0119）



警戒レベルを使った避難情報

災害時にとるべき行動が直感的に分かるように、5段階の警戒レベルを使ってお知らせします。

■表1 避難情報

警戒レベル	避難行動	避難情報など
5	すでに災害発生。命を守る最善の行動をとる	災害発令情報
4	自宅内より安全な場所へ速やかに避難	・避難勧告 ・避難指示（緊急）
3	高齢者・障がい者・乳幼児やその支援者は避難。その他の人は避難準備	避難準備・高齢者等避難開始
2	避難に備え、防災ガイドブックで避難行動を確認	・大雨注意報 ・洪水注意報
1	最新情報に注意	早期注意情報

警戒レベル3・4・5 → 市が発令
警戒レベル1・2 → 気象庁が発令

■表2 第1次避難所（自主避難施設）

施設名称	住所	電話	施設名称	住所	電話
柳川市民会館（11月8日まで）	坂本町 29-2	72・5168	大和コミュニティセンター	明野 426-1	76・3269
柳河ふれあいセンター	新町 5-2	72・5478	豊原コミュニティセンター	豊原 138-1	73・6767
城内コミュニティ防災センター	本町 53-1	73・9556	血垣コミュニティセンター	栄 1495-3	76・1519
矢留うぶすな館	矢留本町 150	73・8398	有明コミュニティセンター	血垣開 560-1	76・3173
柳川農村環境改善センター	下宮永町 132-1	73・6793	三橋生涯学習センター	正行 431-2	73・4489
有明まほろばセンター	有明町 1490	73・6792	矢ヶ部コミュニティセンター	柳河 431-1	74・2982
就業改善センター	久々原 126-3	73・6790	ニッ河コミュニティセンター	木元 57	74・2909
蒲池農村環境改善センター	矢加部 251-3	73・6791	垂見コミュニティセンター	垂見 1583-2	72・5230
大和生涯学習センター	栄 231	76・1116	中山コミュニティセンター	中山 794-2	63・5524
大和漁村センター （中島コミュニティセンター）	中島 385	76・0864	藤吉コミュニティセンター	高畑 256	74・6466
六合コミュニティセンター	六合 1677	76・5822			

平成24年の九州北部豪雨で決壊した江崎地区の矢部川堤防



警戒レベルごとの 避難行動を確認

風水害の危険性が高くなったら、防災無線を利用した屋外放送や、携帯電話の緊急速報メールで避難情報をお知らせします。避難情報は、5段階の警戒レベルを使った「災害発令情報」「避難勧告」「避難指示（緊急）」「避難準備・高齢者等避難開始」など（左上表1）。警戒レベルによって皆さんがとるべき避難行動が決まっています。実際に災害が起こると、多くの人が焦ってしまい、冷静な判断ができません。警戒レベルごとにどのような避難行動をとるべきか、日ごろから考えておくことが大切です。

これからの季節、梅雨前線や台風による大雨、洪水などの災害が発生しやすくなります。こうした風水害は、毎年発生していて、誰もが被災する可能性があります。平成24年7月の九州北部豪雨は、市内全域に大きな被害をもたらしました。「備えあれば憂いなし」のことわざにもあるように、災害に備えて日ごろから準備をしておくことが重要です。

【問】 市総務課安全安心係（☎77・8152）

防災ガイドブックを読んで 万が一に備える

市では、市民の皆さんが災害時にどう対応すればよいのかを記した「防災ガイドブック」を作成し、昨年に全世帯へ配布しています。その中には、各地区の避難場所（左上表2）をはじめ、情報収集の仕方、非常時持出品のリスト、ハザードマップ（浸水想定図）などの情報を掲載。この機会にもう一度確認し、災害へ備えましょう。同ガイドブックは、市総務課や公式サイトで入手できます。



大川電気工事業者協同 組合と災害協定締結

3月24日、市は、昭代地区と蒲池地区の電気工事業者が加盟している大川電気工事業者協同組合と災害協定を結びました。

この協定により、大規模災害が発生した場合、電気関係事業者がいち早く現場に出動。災害対応拠点や避難所となる公共施設などの電力の復旧を優先的に取り組みます。

今回協定を結んだのは九州電気保安協会福岡支部と柳川電気工事業者協同組合に続き3団体目です。

平成3年の台風17・19号や24年の九州北部豪雨、28年の熊本地震など、市は度々自然災害に見舞われています。今後も災害時の電気安定供給に取り組みしていきます。

【問】 市消防本部警防課警防係（☎74・0119）